

十日町市
Tokamachi
ぎ"かい
だより

令和8年5月10日発行

CONTENTS No.90

予算審査特別委員長報告	2-3P
一般質問	4-9P
議会をPick-Up!	10P
議案の審議結果	10-11P
政務活動費執行状況報告	12P

何気ない幸せ

(写真：十日町総合高校写真部)

令和8年度 一般会計・特別会計予算を可決 (令和7年度は肉付補正予算を含む)

3月定例会では、予算審査特別委員会を設置し、3つの分科会に分かれ、令和8年度予算について、様々な視点から審査を行いました。3月23日の議会最終日には、委員長から審査結果が報告され、討論を経て、令和8年度予算全ての会計について原案どおり可決しました。ここでは、予算審査特別委員長の審査報告をお知らせします。

総額 506億4,600万円

前年度対比 +12億9,180万円 (2.6%の増)

会計別 予算額

一般会計 364億0,000万円 (市民1人あたり約79万円)

前年度対比 +10億2,000万円 (2.9%の増)

特別会計 142億4,600万円

前年度対比 +2億7,180万円 (1.9%の増)

令和8年度 市の予算



特別会計内訳

	前年度対比		
国保	49億2,700万円	+1億1,800万円	(+ 2.5%)
診療所	1億9,400万円	△ 5,620万円	(△ 22.5%)
訪問看護	5,800万円	+ 500万円	(+ 9.4%)
後期高齢者医療	10億1,900万円	+1億7,100万円	(+ 20.2%)
介護	80億2,800万円	+ 7,800万円	(+ 1.0%)
温泉	2,000万円	△ 4,400万円	(△ 68.8%)

予算審査 特別委員長報告

令和8年度予算審査特別委員会に付託されました、議案第40号から議案第49号までの、各会計予算、合わせて計10件については、いずれも原案可決であります。予算審査特別委員会、正副主査会議において、特に分科会から出された意見、要望について何点か申し上げます。市長、並びに行政当局におかれましては、市政運営に反映されますよう、強く要望するものがあります。



予算審査特別委員長
大嶋由紀子 議員

一般会計

【歳入】
とおかまち応援寄附金について、これまで予算額が右肩上がり推移してきましたが、



第1分科会 (3月13日)

8年度は前年度と同額になります。関係事業者と連携しながら寄附額を維持できるよう取り組んでいただきたい。また、新たな自主財源の確保策も模索されることを望みます。

【歳出】

人口減少問題については、全庁的な取り組みとともに、市民との危機意識の共有を図り、「オール十日町」での取組推進を望みます。

●民生費

保育園等の副食費について、子育て世代の負担軽減のため、副食費の補助を更に拡充していただきたい。

●衛生費

分娩体制維持支援事業について、県立十日町病院から一日も早く分娩業務を再開してもらえ

るよう分娩体制の整備に努めていただきたい。

●商工費

大地の芸術祭は、十日町市の魅力を国内外に発信する大切な事業です。芸術祭の効果を市街地に広げていくことが、地域全体の活性化に繋がります。第10回展に向けては、市街地での作品配置やイベントの開催、商店街や飲食店との連携を深めることによる回遊性を高める取り組みや、教育委員会との連携など、積極的な検討を望みます。今回の予算編成では、作品修繕や、作品整理、集落支援委託など既存作品に関する予算が多額になっていることから、各事業費の明細を市民に明らかにして、透明性を確保し、市民理解を得ながら事業に取り組まれることを望みます。



第2分科会 (3月16日)

また、芸術祭の作品については、恒久的な作品や老朽化等により中長期的に費用の掛かる施設などがあり、作品の維持管理に多額の経費が掛かるものと予想されますので、継続して残す作品を選別するほか、DXの活用など、維持管理費の削減に向けた取り組みを望みます。

●土木費

道路除雪作業について、人口減少・高齢化が進行する中、除雪は市民生活の根幹を支える極めて重要な公共サービスであり、冬の地域を支える安全保障そのものです。DXの活用による効率化、地域の共助を支える仕組みづくりなど、10年後20年後を見据えた持続可能な除雪体制を維持するための中長期戦略を行政として明確に示し、着実に進めていきたいと思えます。



第3分科会（3月17日）

●教育費

部活動が地域に展開する中で、地域の協力は大変重要となりますが、受け入れる組織・団体は利益を上げるものではないため、運営は厳しい状況となることが想定されます。市としても支援の充実が図られるよう望みます。

■介護保険特別会計

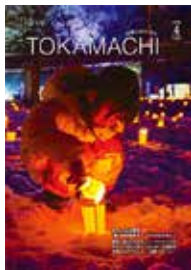
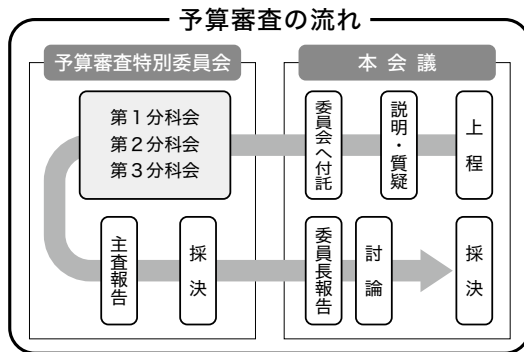
保険料を抑えるためにも、より一層の介護予防事業の充実に、介護の質の維持にも努めてほしいとの意見がありました。

■企業会計

水道・下水道事業は、市民生活と地域を支える重要な基盤です。人口減少が続く中、更新計画・財源・体制づくりを総合的に検討いただき、将来にわたって安心して利用できる事業運営を目指していただきたいと思います。



令和8年度一般会計予算採決の様子（3月23日）



令和8年度予算の詳細は、「ホームページ」や「市報4月10日号」をご覧ください。

新年度予算に対する 討 論



詳細は、3月定例会最終日の録画中継をご覧ください。



▼反対

基幹産業である農業への予算配分が少ない。生産資材の高騰、販売単価の先行不安、農業従事者の高齢化により山間部では共同作業が厳しい状況であり、この課題を打破する支援が必要。大地の芸術祭推進費は6億5300万円で商工費全体の33・2%。アートへの興味が薄く、日々の生活との関わりが分からないという住民の声もある。低コストで住民主体の雪まつりのような取り組みが出来ないか。小学校の給食費無償化は喜ばれている。中学校の給食費無償化実現には、一般会計予算の0・24%で可能である。介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計は、いずれも加入者負担が増大しており、公費負担の割合を増やすべき。下水道企業会計は住民の負担増による赤字解消では

なく、芸術祭などのイベントを見直したうえで、一般会計からの繰り入れを望む。

▼賛成

（滝沢繁議員）

基本方針「人にやさしいまちづくり」では、カタログギフトのプレゼントや母子健康手帳アプリの導入、安心パック給付金の継続による妊婦・子育て世代の支援や、教職員の事務補助や小学校給食費の完全無償化、中学校給食の食材費高騰支援など、学校教育の充実に図っており、妻有荘の建て替えやなかまの家の移転新築支援など福祉向上に取り組んでいます。また、「活力ある元気なまちづくり」に向け、史跡や芸術祭拠点整備による回遊促進、農業の担い手確保や産業支援、「安全・安心なまちづくり」の取り組みでは、防災対策や水道基本料金の減免、交通・空き家・雪処理支援の充実が図られています。「持続可能な地域づくり」では、地域おこし協力隊や買い物支援の継続、ふるさと納税の確保など持続可能な地域づくりを目指しており、健全な財政運営と物価高騰対策・経済対策の両立が図られた新年度予算に賛成します。

（遠田延雄議員）

ココが聞きたい! 一般質問

一般質問は、議員個人が問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。今回は、11人が私たちの生活に関わることについて質問をしました。



質問議員	質問事項	ページ
星名大輔	妊婦の搬送支援について、小学校の再編について	4
大嶋由紀子	災害救助法の適用基準と小学校給食費について	5
滝沢青葉	十日町市における公共投資の今後とその見込みについて	5
野沢浩平	豪雪被害対策について	6
市川直子	若者が戻るまちをつくるための雇用創出戦略について	6
根津年夫	豪雪地のこれからの振興策と小学生の長期休暇の過ごし方	7

質問議員	質問事項	ページ
山家悠平	子育て支援について	7
滝沢繁	松代診療センターへの移行と医療福祉について	8
富井春美	豪雪から暮らしを守ることと学校給食について	8
中林寛暁	中心市街地の課題と展望、中学校部活動の地域移行	9
樋口富行	基幹産業である農業の発展に力を入れ、元気な十日町市に	9



妊婦の搬送支援について、 小学校の再編について

星名大輔 議員



質問 緊急時における妊婦の円滑な救急搬送体制が必要と考えますが、市長の見解は。

答弁 救急搬送については、十日町地域消防本部が担っており、妊婦の搬送時のリスクを最小限に抑えるため、資機材の確保をはじめ、医師や助産師による実技研修を実施するなど、継続した訓練に取り組んでいます。今後は先行事例も参考にし、訓練内容の充実を図るとともに、魚沼基幹病院など周産期医療機関との連携強化に努めます。また、さらなる安心確保と緊急時の円滑な救急要請につなげるため、妊婦情報を事前登録できる制度の導入に向け、市と消防本部で協議・調整を進めています。併せて、県は妊婦搬送の研修を受けたドライバーが対応する「こむすび出産支援タクシー」の整備を促進する方針とのことです。地域内のタクシー事業者への働きかけなどを通じて、移動支援体制の構築に努めます。

質問 小学校の再編に関して、方針の進捗状況、方針策定後の児童数の変化等を受けた方針の見直し及び今後の進め方について

答弁 第2次十日町市学区適正化方針における小学校の学区再編計画では、

複式学級の解消を目指し、1学年1学級以上であることを再編方針としています。具体的には中条小と飛渡第一小、吉田小と鑑島小、水沢小と馬場小、上野小と橋小、田沢小と貝野小の統合が示され、令和3年4月に貝野小が、令和7年4月に馬場小がそれぞれ再編されました。このように方針策定以降、各地域で様々な議論や検討が行われています。特に川西地域では、児童数の大幅な減少や地域全体での早期の学校統合を望む声があることから、3つの小学校を1校に再編することとして、地域の皆様と検討を進めています。



安心して出産できますように



災害救助法の適用基準と 小学校給食費について

大嶋由紀子 議員



質問 ①今年の冬、災害救助法が適用に至らなかつた理由について②現行の法適用基準の課題認識について③基準見直しへの働きかけについて

答弁 ①当市では県内自治体の中でいち早く1月23日に警戒本部、1月30日には豪雪対策本部を設置しました。また、災害救助法の適用を国に要請する立場の県に対し相談を重ねましたが、協議の結果、積雪深が基準に達しなかつたため災害救助法の適用には至りませんでした。②積雪深や連続降雪に関する基準など、法適用に際して課題があると認識しており、県と協議を行っています。③県からは基準見直しの必要性について理解いただいております。改善に向けて検討することとなります。今後は、周辺自治体とも調整を図りながら見直しを求めています。

答弁 ①学校給食摂取基準に基づき、栄養教諭が必要な量とバランスを確保した献立を作成しています。また、地産地消を推進し、旬の食材を取り入れるなど、給食の質の確保に努めています。②食料品価格の高騰により、1食当たりの食料品費も高止まりの状況ですが、令和5年度以降、国の臨時交付金を活用し、徴収額を据え置くなご保護者の負担軽減に努めています。③無償化と言える、大きな制度変更で国が踏み込んでくれたと評価しています。そのうち、市として応分の負担をして、令和9年度以降も、いわゆる無償化するタイミングが来たと捉えており、国との差額負担分について臨時交付金が無くとも無償化を続けていく覚悟で、8年度予算を編成しました。



～女性議員有志でアンケートを実施～
給食の質確保熱望!!



十日町市における公共投資の 今後とその見込みについて

滝沢青葉 議員



質問 当市は目指すまちの姿の実現のために、様々な社会資本の整備・更新を行ってきた。その中には多額の公債の発行を伴う事業もあり、市の財政に大きな影響を与えると考える。中長期的な観点から、以下の点を伺う。①将来における公共投資の方向性並びに必要な分野について②老朽化により施設の大規模修繕または更新が必要とされる施設について、どのような優先度で進めていくか③遊休資産の把握状況と今後の活用について

答弁 ①これまでのデフレ環境下では、その時々有利な財源等を積極的に活用し、市内経済を下支えしてきた。現在は、民間事業者の力を発揮いただけるフェーズに入ったものと認識しており、令和8年度は農業者や市内事業者など投資意欲のある方々に対し、これまで以上の手厚い支援を実施します。これは当市の財政運営における大きな方針であります。今後は、この考えの基、ハード面における公共投資は抑制基調としつつ市民ニーズを把握し、必要な投資は引き続き行っていく予定です。②養護老人ホーム妻有荘、障がい者支援施設なかまの家の建設費支援のほか、小中学校や総合体育館の空

調整備に着手します。利用者の生活環境や社会的環境、自然環境の変化などを考慮するとともに、特に空調の整備については国からの交付金も見込めることから、そのタイミングを逃すことなく優先的に実施していきます。③遊休資産は17施設あり、このうち解体予定のものが3施設、売り出し中のものが3施設あります。また、サウンドディング調査の手法を用い、効果的な活用を目指している施設もあります。その施設の形態、再利用価値、老朽化、傷み具合などを総合的に判断して、適時適切な方法で処分、活用を検討していく考えです。



十日町市エコクリーンセンター



豪雪被害対策について

野沢浩平 議員



若者が戻れるまちをつくるための雇用創出戦略について

市川直子 議員



質問 本年1月以降、記録的な大雪が断続的に続き各地で死亡事故や甚大な被害が相次いで起きました。①除雪作業の安全対策②高齢者への除雪補助金増額及び人員の確保③雪で外出困難になった高齢者への支援④第三者に危険が及ぶ可能性のある、所有者などが居ない空き家の除雪対応⑤破損した道路の補修計画⑥主要道路排雪作業に伴う交通渋滞の緩和対策について伺います。

答弁 ①雪下ろし作業の安全を確保するため、屋根へのアンカー設置や墜落防止用器具の購入補助、安全な雪下ろし講習会、流雪溝への中網の設置や転落防止柵の設置などを実施しています。②高齢者への除雪補助金の増額については、近隣自治体の状況なども参考に、見直しを検討していきます。また、自ら雪下ろしができない市民のニーズや担い手の状況を把握し、今後の対応を検討します。③日常生活に困り事がある高齢者及び障がい者に対し、買物支援や降雪時における玄関先の道つけなど、日常生活を維持するために必要な支援事業を行っています。④条例に基づき屋根雪除去などの緊急安全措置を実施しています。なお、国には、これらの費用に対する財政支援の要望を継



安全帯、命綱、アンカーを使用した雪下ろし作業

続的に行っています。⑤除雪作業により舗装の穴やひび割れなどは、道路パトロールや市民からの通報を通じ、即時に補修を行っています。また、広範囲に舗装が傷んでいる箇所は、新年度の早期に修繕を行うよう計画的に対応します。⑥排雪作業に伴い、一時的な渋滞は発生しますが、皆様のご理解とご協力をお願いするとともに、主要市道については、事前周知等に努めてまいります。

質問 若年層の流出が続く一方、市内企業からは人材不足の声が多く聞かれます。「仕事はあるのに若者が戻らない」という状況、また背景をどう捉えているのか伺います。

答弁 国全体で人口が減少している中で、全国的に人材不足が進み、デフレ脱却による景気回復傾向により、都市部を中心に求人が増え、人材獲得競争が激化しています。また、市内にも魅力がある企業や産業はあるものの、その魅力が十分に発信しきれていないため、進学等で都市へ出た人が就職時に選択肢として、市内企業を挙げにくいことも一因と考えています。

質問 第三次十日町市総合計画基本構想で掲げる産業振興をどのように進めるのか伺います。

答弁 まちの産業発見塾をはじめとしたキャリア教育の充実や、新たに伝統技術を学ぶ学生ときもの産業とのマッチングを実施し、人材の確保、育成に努めます。また、地域産業の活性化に向け、地域資源を生かした製品サービスの開発、販路拡大を支援します。さらに、新たな創業に向け、各種相談会やビジネス



若者たちが戻れる仕事をつくる (生成 AI によるイメージ図)

プラン審査会などを実施するとともに、各種支援制度の情報発信に努め、市内への企業誘致を推進します。

質問 行政として様々な産業をつなげ、新たに挑戦できる環境を生み出すための、雇用戦略について伺います。

答弁 帰郷した若者や高校生・中学生など、これから挑戦したい人々が、多様な生き方や成功者の具体像を知ることが、人生観や仕事観の形成において重要です。教育部局と連携し、まちの産業発見塾などをさらに発展させ、意欲ある創造的な市民の育成につなげていきたいと考えます。



豪雪地のこれからの振興策と 小学生の長期休暇の過ごし方

根津 年夫 議員



質問 ①第三次総合計画における克雪(安全を守る)と利雪(雪を魅力として活かす)の位置付け②持続可能な除雪体制維持に向けたDXの活用③共助の強化(地域で助け合う仕組みづくり)④雪を資源とする産業・観光振興の取り組みと今後の方向性を伺います。

答弁 ①総合計画に示した目指すまちな姿として「雪と生きる。大地に遊ぶ。未来を創造するまち」とおかまち」を掲げ、雪の厳しさと恩恵を受け止め、まちづくりを進めていきます。②除雪機械の自動化・無人化やドローンなどを活用した新技術の導入も期待されまます。豪雪地十日町市としてその実現ができればと考えています。③原則は自助ですが、市内には近所同士で支え合う好事例もあることから、全域に広がるよう努めます。④日本遺産に認定された「究極の雪国とおかまち」を、産業・観光分野でのビジネス化につなげる取り組みを支援していきます。

質問 ①小学生の長期休暇の居場所の確保②子ども・保護者の意見を反映させる仕組みづくり③児童クラブへの昼食提供(保護者の負担軽減策)④休暇中の安全・防犯対策について伺います。

答弁 ①放課後児童クラブの設置運営



子どもの長期休暇の居場所づくりを!

を中心に、公民館での学習場所の提供や、めぐらんどなど、子どもたちの居場所確保を進めています。②子育て支援センターでの保護者アンケートの実施に加え、今年度は保育園長児や放課後児童クラブの利用児童から直接話を聞くなど、子どもの意見の把握に努めています。③他自治体の動向等も参考にしながら、慎重に検討していかねければならないと考えています。④青少年育成会や防犯協議会を中心に、各地域でパトロールなどを行っており、引き続き、市民団体、警察など関係機関と連携し、子どもの安全確保に努めます。



子育て支援について

山家 悠平 議員



質問 将来、本市で産科医等として勤務する意欲のある学生に対し、長期的な視点で支援はできないか。

答弁 市内病院勤務の若手医師に対する研究資金の貸与や、新規開業に係る経費への補助のほか、医学生への研修費支援など、独自の事業を幅広く実施しています。

質問 保育士や未来の保育士に対して、「奨学金返還支援」、「住居支援」、「処遇改善や業務負担軽減」など支援拡充できないか。

答弁 市の奨学金返還支援制度は、対象に保育士も含まれており、住居支援も移住定住施策の中で活用が可能となっております。処遇改善については、国の賃金改善や保育補助者の配置、ICT化の推進などにより、業務の負担軽減が図られているものと認識をしています。このように既存制度の中で総合的に支援を行っていますが、全体的な内容として分かりやすく整理して、関係者の皆様へ周知を行います。また、昨年はまちの産業発見塾において、中高生へのPRを行いました。引き続き保育士の魅力向上につながる取り組みを支援していきます。

質問 未就学児の国保税均等割の全額

免除や未満児保育料の完全無償化、中学校給食費の無償化を行った場合の具体的試算と見解を問う。

答弁 未就学児の国民健康保険税の均等割を全額軽減した場合に必要な予算は約120万円です。未満児の保育料を完全に無償化した場合は約6200万円、中学校の給食費を無償化した場合は約8600万円と見込んでいます。いずれの事業につきましても、国の施策方針を注視するとともに、県内自治体の動向を把握しながら、総合的に検討してまいります。





松代診療センターへの移行と医療福祉について

滝沢 繁 議員



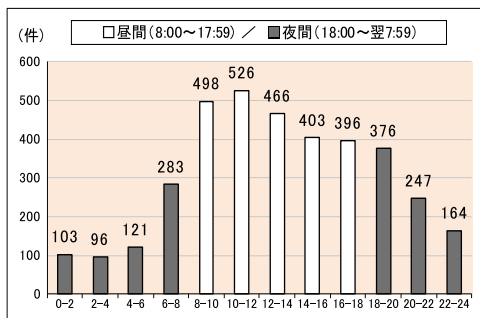
質問 住民からは医師の複数確保、体制の強化、交通網の整備、対応時間の延長等の要望が出ている。住民の要望に応える体制をどう作っていくか。

答弁 県立松代病院は、診療所化後も従来の外来機能は維持され、訪問診療、訪問看護も継続されます。併せて令和8年度は、松代地域と十日町病院を結ぶ公共交通の充実を図るほか、介護保険の要支援者を対象とした移動支援モデル事業を実施するための予算を計上しています。さらに、医療DXによるオンライン服薬指導も推進し、地理的条件に左右されにくい環境づくりを進めるとともに、住民の皆様が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、引き続き取り組んでまいります。

質問 無床診療所化に反対する住民運動が起こったことをどの様に捉えるか。

答弁 十日町病院との連携により入院機能は同病院へ移行しますが、これまで地域に暮らしてきた皆様の思いを新しいまっただい診療センターで受け止め、県からは、中山間地医療のモデルとなるよう経営に当たっていただきたいと思いますし、市も医療・介護・地域包括ケアの誇れる体制を構築していく責務があると考えています。

令和6年度 覚知時間帯別救急出動件数



※「覚知」:119番回線が消防機関に接続し受付をした時刻
「十日町地域広域事務組合 消防年報令和6年版」より

質問 入院機能は十日町病院へ集約し、275床から250床に削減されたが、令和7年10月末の入院患者は松代病院と合わせ223人となり、病床数の約90%を埋めることになる。感染症流行時の対応に懸念があるが。

答弁 病床数が25床減少してありますが、これは許可病床数の変更によるもので、実際に稼働している病床数は250床であることから、現状に大きな変化はないものと考えています。また、松代の入院患者を含めた際の病床の逼迫や感染症流行時の懸念については、過去の実績や将来の人口動態などを踏まえ、県において総合的に病床減を判断されたものと認識しています。



豪雪から暮らしを守ることと学校給食について

富井 春美 議員



質問 今冬の豪雪で、高齢者世帯の屋根雪除排雪のマンパワー不足が生じました。そこで①業者の人材確保への支援の可能性②冬期集落安全・安心確保対策支援事業の適用地域の拡充③行政として独自の対策、手立てを検討する必要があると考えているがいかがか。

答弁 ①自ら屋根雪処理ができない市民には、降雪前に、作業の受け手を決めてもらうようお願いしていますが、大雪時は需要が急増します。業者の雪下ろし人材確保をどのように支えられるのかについては、今後さらに検討が必要と考えています。②冬期集落安全・安心確保対策支援事業は、県の支援制度を活用しており、要件が高齢化率50%以上となっております。高齢化率40%を超えたところについては、集落安

づくり事業により地域振興会、自治組織と調整して取り組んでいただきたいと思います。③広域応援に関する実証実験の結果などを踏まえて、検討してまいります。

質問 「県が災害救助法の運用基準を見直す」ことが報道されました。どのような



1月20日から降り続いた積雪

な話し合いがされるか伺います。

答弁 県に対して、一定の基準に基づく弾力的運用を要望しています。積雪深だけでなく、様々な要素を組み合わせた運用基準になるよう、県との意見交換を行いたいと考えています。

質問 学校給食について①コシヒカリの米飯回数を増やすこと②中学校給食無償化の検討について伺います。

答弁 ①令和7年度産米の価格高騰を受け、一般市場での魚沼産コシヒカリの需要が拡大しています。そうした中にも、令和8年度において現状の月4回提供分の数量を確保できるように、JAや生産者に協力をお願いしています。②今後の国の施策の方向性を見極めながら、他自治体の動向なども参考として総合的に判断してまいります。



中心市街地の課題と展望、 中学校部活動の地域移行

中林 寛 議員



質問 中心市街地活性化に対する今後の取り組みについて①中心市街地活性化への当市の目標、それに対する課題と計画している事業は。②これまで継続して開催されている雪まつり、着物まつり、おおまつりについて、にぎわいの維持についてどのようにお考えか。

答弁 ①中心市街地活性化計画により整備した拠点施設を活用し、様々な取り組みを実施してきたことで、中心市街地には新たなにぎわいが生まれています。今後は、にぎわいの維持や、さらなるにぎわいの創出を図るため、民間事業者への支援や居住誘導区域への誘導施策に取り組みます。なお、令和8年度は克雪すまいづくり事業の拡充や、空き家・空き店舗の取得及び改修に対する支援事業を新たに実施します。②長年継続して開催されているこれらの祭りは、本市の歴史、文化、産業を象徴し、にぎわいを生み出す重要なイベントであり、市民の皆様が主体となって積み重ねてきた当市固有の文化です。今後も皆様の自主的な取り組みを尊重しながら、継続的に開催されるように、必要な支援に努めます。



市民の手による雪像

は。また、今後平日の部活動の地域移行への取り組みも考えられるが、現時点でどのように考えているか。

答弁 中学校部活動として実施している運動部9種目、文化部1種目、計10種目と、その受け皿となる地域クラブの活動を支援してまいります。また、平日の部活動の地域展開については、今後の地域クラブ活動の状況や日本中学校体育連盟主催大会、いわゆる中体連大会への出場の在り方、そして指導者確保対策など、課題を検証していきながら改めて検討してまいります。



基幹産業である農業の発展に 力を入れ、元気な十日町市に

樋口 富行 議員



質問 農地の大区画を求め農地を集約する政策は、この地域では対応が厳しいです。農地を守り農業を守る為にも、今の制度だけでなく農家全てを支援する事で元気な十日町に繋がると思っています。そこで次の3点をお聞きします。①小規模農家の農作業所等の増築、農機具更新への補助制度新設・拡充②農業法人が小規模農地を受託する際のほ場整備の補助制度の支援③農業法人を新規就農者の研修機関として位置付け、支援制度の創設

答弁 ①これまでも認定農業者や認定新規就農者、3人以上の農業者で構成される団体や農業法人が農業機械を導入する際、担い手経営発展支援事業補助金で支援しています。この支援制度は、経営面積または作業受託面積の増加を支援の条件としています。令和8年度はこの制度を拡充し、補助率を3分の1以内、上限額を50万円に増額などを行います。さらにスマート農業機械を導入する場合の加算金を50万円に増額し、合計で最大100万円を支援します。加えて家族・兼業農家も地域計画の担い手として位置づけられた場合は、支援対象とします。②市単事業で小規模ほ場整備事業の活用が可能で



農地を守り農業を守る!!

す。出来高の水張面積が、中山間地域等直接支払交付金の対象農地の場合は5アール以上、それ以外については10アール以上が支援対象で、事業費上限は100万円としています。③県が認定する青年就農支援事業研修機関は、県内に17か所あり、50歳未満の研修生が就農に必要な技術や知識を習得することができま。なお、今年の1月に市内の団体が魚沼地域で初めて研修機関に認定されました。研修機関に対する市の支援はありませんが、取り組みの輪が広がるように県と連携して情報発信に努めます。

3月定例会 (第1回)

令和8年第1回定例会

会期 3月3日～23日 (21日間)

審議の結果は、10ページ下段から11ページに掲載

議会をPick-Up!

3月の定例会は、市長提出議案50件、議会提出議案4件を審議しました。

Pick-Up 01

一般会計補正予算 (第10～13号)

(主な事業および内容)

●住民税非課税世帯給付金事業

物価高の影響を受ける低所得者世帯への支援として、住民税非課税世帯に対して1世帯当たり2万円の給付金を支給します。

●物価高対応子育て応援手当支給事業

物価高の影響を特に強く受ける子育て世帯を力強く支援するため、児童手当の対象児童1人につき2万円を支給します。



●ひとり親世帯支援給付金支給事業

物価高の影響を受ける低所得者世帯への支援として、ひとり親世帯に対し1世帯当たり3万円及び、対象児童1人につき2万円を支給します。



●介護・福祉施設等物価高騰対策支援事業

介護・高齢・障がい福祉施設等を運営している法人等に対して、物価高騰の影響による負担軽減を図るため、提供するサービスの種類の別に応じて設定した支援金を交付します。

●避難生活環境改善事業
冬季の避難所の寒さ対策として、暖房器具(ジエットヒーター、ブルーヒーター、石油ストーブ)を配備します。
●指定避難所備蓄物資追加備蓄事業
原子力災害時に、自宅での屋内退避が困難な場合を想定し、市内UPZ内の指定避難所に備蓄物資(8700食分)を整備します。



Pick-Up 02 条例の制定

(主な事業および内容)

●十日町市犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪被害者等の支援に関する基本理念を定め、支援を総合的に推進し、犯罪被害者等を社会全体で支えることで、市民等が安心して暮らせる地域社会を実現するために「十日町市犯罪被害者等支援条例」を制定しました。

Pick-Up 03

人事議案

任期満了に伴う人事議案が提出され、同意しました。



犯罪被害者等支援シンボルマーク「ギョっちゃん」

【教育委員会委員】

久保田 果奈子 氏

【固定資産評価審査委員会委員】

市川 健司 氏

長谷川 義明 氏

山家 拓朗 氏

Pick-Up 04 意見書の提出

議員が提出した次の意見書を可決しました。

内閣総理大臣をはじめ国の関係機関や国会に提出し、その実現を図るよう要望します。

●免税軽油制度の継続を求める意見書

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らか議案について掲載。(○：賛成、×：反対、－：欠席)
※村山達也議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決(賛成・反対の意思表示)権はありません。

賛否等の状況

議案番号等	議決結果	賛成	反対	かがやき						希望			日本共産党十日町市議団			新成会				無党派	
				富井高志	山家悠平	水落静子	鈴木一郎	市川直子	滝沢青葉	根津年夫	中林寛暁	遠田延雄	大嶋由紀子	滝沢繁	富井春美	樋口富行	星名大輔	野沢浩平	福崎哲也	依山裕	小林正夫
11	原案可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	※
24	原案可決	15	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	※
28	原案可決	15	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	※
40	原案可決	15	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	※
44	原案可決	15	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	※
45	原案可決	16	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	※
49	原案可決	15	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	※
50	原案可決	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	※

3月定例会 議決結果

議案番号等	件名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出議案	1 専決処分の承認について（令和7年度十日町市一般会計補正予算（第10号））	—	全員賛成	承認
	2 専決処分の承認について（令和7年度十日町市一般会計補正予算（第11号））	—	全員賛成	承認
	3 専決処分の承認について（令和7年度十日町市一般会計補正予算（第12号））	—	全員賛成	承認
	4 教育委員会委員の任命について（久保田 果奈子【くぼた かなこ】氏）	—	全員賛成（投票）	同意
	5 固定資産評価審査委員会委員の選任について（市川 健司【いちかわ けんじ】氏）	—	全員賛成	同意
	6 固定資産評価審査委員会委員の選任について（長谷川 義明【はせがわ よしあき】氏）	—	全員賛成	同意
	7 固定資産評価審査委員会委員の選任について（山家 拓朗【やまが たくろう】氏）	—	全員賛成	同意
	8 十日町市過疎地域持続的発展計画の策定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	9 十日町市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	10 十日町市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	11 十日町市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	賛成多数	原案可決
	12 十日町市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	13 十日町市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	14 十日町市犯罪被害者等支援条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	15 十日町市議会議員及び十日町市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	16 十日町市議会議員及び十日町市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について	総務文教	全員賛成	原案可決
	17 十日町市河川法施行条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	全員賛成	原案可決
	18 十日町市公共物管理条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	全員賛成	原案可決
	19 十日町市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	全員賛成	原案可決
	20 十日町市中心市街地活性化基金条例を廃止する条例制定について	産業建設	全員賛成	原案可決
	21 十日町市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	全員賛成	原案可決
	22 十日町市農業集落排水事業受益者分担金に関する条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	全員賛成	原案可決
	23 十日町市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	全員賛成	原案可決
	24 十日町市下水道条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	賛成多数	原案可決
	25 十日町市上水道給水条例の一部を改正する条例制定について	産業建設	全員賛成	原案可決
	26 十日町市住民基本台帳カードの利用に関する条例を廃止する条例制定について	厚生	全員賛成	原案可決
	27 十日町市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	厚生	全員賛成	原案可決
	28 十日町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	厚生	賛成多数	原案可決
	29 十日町市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	厚生	全員賛成	原案可決
	30 令和7年度十日町市一般会計補正予算（第13号）について	—	全員賛成	原案可決
	31 令和7年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について	—	全員賛成	原案可決
	32 令和7年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第4号）について	—	全員賛成	原案可決
	33 令和7年度十日町市訪問看護事業特別会計補正予算（第3号）について	—	全員賛成	原案可決
	34 令和7年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）について	—	全員賛成	原案可決
	35 令和7年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第4号）について	—	全員賛成	原案可決
	36 令和7年度十日町市松の山温泉配湯事業特別会計補正予算（第2号）について	—	全員賛成	原案可決
	37 令和7年度十日町市水道事業会計補正予算（第4号）について	—	全員賛成	原案可決
	38 令和7年度十日町市簡易水道事業会計補正予算（第4号）について	—	全員賛成	原案可決
	39 令和7年度十日町市下水道事業会計補正予算（第3号）について	—	全員賛成	原案可決
	40 令和8年度十日町市一般会計予算について	予算審査特別	賛成多数	原案可決
	41 令和8年度十日町市国民健康保険特別会計予算について	予算審査特別	全員賛成	原案可決
	42 令和8年度十日町市国民健康保険診療所特別会計予算について	予算審査特別	全員賛成	原案可決
	43 令和8年度十日町市訪問看護事業特別会計予算について	予算審査特別	全員賛成	原案可決
	44 令和8年度十日町市後期高齢者医療特別会計予算について	予算審査特別	賛成多数	原案可決
	45 令和8年度十日町市介護保険特別会計予算について	予算審査特別	賛成多数	原案可決
	46 令和8年度十日町市松の山温泉配湯事業特別会計予算について	予算審査特別	全員賛成	原案可決
	47 令和8年度十日町市水道事業会計予算について	予算審査特別	全員賛成	原案可決
	48 令和8年度十日町市簡易水道事業会計予算について	予算審査特別	全員賛成	原案可決
	49 令和8年度十日町市下水道事業会計予算について	予算審査特別	賛成多数	原案可決
	50 令和7年度十日町市一般会計補正予算（第14号）について	—	賛成多数	原案可決
請願	1 免税軽油制度の継続を求める請願	総務文教	全員賛成	採択
議会提出議案	1 免税軽油制度の継続を求める意見書	—	全員賛成	原案可決
	2 専決処分事項の指定について	—	全員賛成	原案可決
	3 閉会中の継続調査の申し出について	—	全員賛成	原案可決
	4 議員派遣について	—	全員賛成	原案可決

報告書は
コチラ↓



項目	会派 かがやき 7人	希望 4人	新成会 4人	日本共産党 十日町市議団 3人	だいち 1人	合計
当初交付金額	1,050,000	600,000	600,000	450,000	150,000	2,850,000
支出	調査研究費	1,006,008	557,051	469,773	72,947	2,197,019
	研修費			74,640		95,260
	広報費					0
	広聴費					0
	要請・陳情活動費					38,140
	会議費					0
	資料作成費				36,861	36,861
	資料購入費				5,700	5,700
	人件費					0
	事務所費					0
合計	1,006,008	557,051	544,413	115,508	150,000	2,372,980
残額(返還額)	43,992	42,949	55,587	334,492	0	477,020

【政務活動費使途基準】

項目	内容
調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究および調査委託に要する経費
研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費および団体等が開催する研修会への参加に要する経費
広報費	会派が行う活動および市政について住民に報告するために要する経費
広聴費	会派が行う住民からの市政および会派の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
要請・陳情活動費	会派が要請および陳情活動を行うために必要な経費
会議費	会派が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への参加に要する経費
資料作成費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費
人件費	会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	会派が行う活動に必要な事務所の設置および管理に要する経費

📺 議会の中継・放送について

((●)) インターネットで

本会議の中継を配信しています。生中継のほか録画の中継もご覧いただけます。ホームページからアクセスしてください。

十日町市議会

検索



📺 ケーブルテレビ

上越ケーブルビジョンで生中継しています。再放送は、会議開催日当日の午後7時からご覧いただけます。

📻 FMラジオ

FMとおかまちで本会議での一般質問を、会議開催日当日の午後7時から放送しています。

今号の表紙は

十日町総合高校写真部

の作品です。



写真部は、日常の一瞬や季節の風景をカメラで切り取る部活です。校内外で撮影を楽しみながら、構図や光の使い方を学びます。部員は3年生2人、2年生1人の少人数でのびのび活動しています。

あとがき

月日の経つのは早く、昨年度は新市誕生から20年を迎え、新たな一歩を踏み出す年度となりました。年明けから連日降り続いた雪もすっかり消え、新緑が芽吹く季節となりました。

議会だよりの表紙は、毎回地元の高校生から提供されています。ある日、住民の方から「今回の表紙は良かった」とお褒めの言葉をいただきました。また、内容についても様々なご意見をいただき、このたよりが身近なものとなっていることを感じました。これからも、皆さんのご感想をお聞かせいただきながら、議会だよりを通じて、議会情報発信してまいります。

俵山 裕

【お問い合わせ】

十日町市議会事務局

〒948-8501

十日町市千歳町3丁目3番地
市役所本庁舎3階

電話 025-757-3119

FAX 025-757-5999